

看護の核となる実践能力：看護師が論理的な思考と正確な看護技術を基盤に、ケアの受け手のニーズに応じた看護を臨地で実践する能力

定義	レベル	自施設のラダー	自施設のラダー	自施設のラダー	自施設のラダー	自施設のラダー	
	レベル毎の定義	基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	・発達段階や疾患・病態に応じて個別的な看護を実践する	・幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する	より複雑な状況においても、新生児や家族にとっての最適な手段を選択し看護を実践する	
目安とする経験年数	成長の視点	1年	2-3年	5-6年 →レベルⅢをクリアしていることがCNになる要件くらいのレベル	7年～	10年～	
	成長の視点	まず患者さん家族 自施設や部署の役割や機能を知ろうとする	周りもみえてくる 役割機能を理解はできる	部署全体の課題がわかる	部署全体の方針課題をふまえて自ら何をすべきかわかってくる	医療看護の動向をふまえて、施設や部署が進む方向をわかってそれに貢献できる行動がとれる	
看護の核となる実践能力	ニーズをとらえる力	【レベル毎の目標】	助言を得て、新生児と家族の状況やニーズをとらえる	新生児と家族の状況やニーズをとらえる	・対象となる新生児や家族の特性をふまえたニーズをとらえる ・チームとして個別的な看護を実践するために必要な情報を収集することができる	対象となる新生児や家族の全体像をとらえニーズをとらえる 新生児や家族の状況を統合したうえで、そこにどのような意味があるかを見極め、最も重要なニーズをとらえる	
		【行動目標】	<input type="checkbox"/> 新生児看護に必要な基本的知識（呼吸・循環、体温、感染、栄養、水分代謝、など）に関する知識を習得している <input type="checkbox"/> 助言を受けながら、新生児および家族のケアを実践するために必要な情報を収集することができる（診療録など） <input type="checkbox"/> 助言を受けながら、新生児および家族のケアの問題点や観察点を抽出し、優先順位を決定することができる <input type="checkbox"/> 新生児の状況から状態の変化	<input type="checkbox"/> 新生児および家族のケアを実践するために必要な情報を収集することができる（診療録など） <input type="checkbox"/> 支援をうけながら退院後の生活も視野に入れて情報を収集することができる <input type="checkbox"/> 新生児および家族のケアの問題点や観察点を抽出し、優先順位を決定することができる <input type="checkbox"/> 新生児の状況から状態の変化に気づき、自らの判断も含めて、報告することができる	<input type="checkbox"/> 新生児および家族のケアを実践するために必要な情報を系統的に収集することができる（診療録など） <input type="checkbox"/> 退院後の生活も視野に入れて情報を収集することができる <input type="checkbox"/> 新生児および家族のケアの問題点を見極め、抽出し、その個性性を考慮して優先順位を決定することができる <input type="checkbox"/> 得られた情報を看護方針に反映させることができる <input type="checkbox"/> 新生児の状況から状態の変化を予測・判断し、適切な対応が考えられる	<input type="checkbox"/> 新生児および家族のケアを実践するために必要な情報を退院後も含めた幅広い視野で予測的判断を持ち収集することができる（診療録など） <input type="checkbox"/> 意図的に収集した情報からニーズをとらえることができる <input type="checkbox"/> 新生児の状況から状態の変化をより早期に予測・判断し、適切な対応が考えられる	<input type="checkbox"/> 身体的、精神的、社会的等様々な側面で複雑で多様な状況にある新生児や家族について、看護上の課題やニーズをこれまでの経験や習得した知識・技術をもって直感的に把握できる <input type="checkbox"/> 家族や周囲の人々の価値観を直感的に捉え自らがどのように行動すべきか考えることができる
	ケアする力	【レベル毎の目標】	助言を得ながら、安全な看護を実践する	新生児と家族の状況に応じた標準的な看護を実践する	新生児と家族の個性性を考慮した看護を実践する	・様々な技術を選択・応用し看護を実践する ・チームとして個別的な看護が提供できるように調整する	最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する（ペナールの看護論を参照）
		【行動目標】	<input type="checkbox"/> 新生児看護に必要な基本的技術（呼吸・循環、体温、感染、栄養、水分代謝、などのケア技術）を習得している <input type="checkbox"/> 支援をうけながらファミリーセンタードケア及びデベロップメンタルケアの理念に基づき標準看護計画に沿って必要なケアが安全に実践できる <input type="checkbox"/> 支援を受けながら、ファミリーセンタードケアの概念に基づき、基本的な育児（抱っこ、おむつ交換、ポトル授乳、直接授乳など）を家族が習得できるように支援する <input type="checkbox"/> 急変時は、助言を受けながら指示通りに行動できる	<input type="checkbox"/> ファミリーセンタードケア及びデベロップメンタルケアの理念に基づき標準看護計画に沿って必要なケアが安全に実践できる <input type="checkbox"/> 基本的な育児（抱っこ、おむつ交換、ポトル授乳、直接授乳など）を家族が習得できるように支援できる <input type="checkbox"/> 急変時は、リーダーの指示のもと各種処置が実施できる	<input type="checkbox"/> 個別的な看護計画の立案・修正ができる <input type="checkbox"/> 発達段階や疾患・病態に応じて個別的なデベロップメンタルケアが実践できる <input type="checkbox"/> ファミリーセンタードケアの理念及び基本的概念（尊厳と尊重 情報共有 参加 協働）に基づき、看護計画を立案・実施できる <input type="checkbox"/> 支援をうけながら退院後の生活も視野に入れて個別的な指導ができる <input type="checkbox"/> 急変時は、各種処置が実施できる <input type="checkbox"/> 支援を受けながら、急変時のリーダー役割を果たすことができる	<input type="checkbox"/> 新生児・家族の顕在的・潜在的なニーズを把握し、看護計画の立案・修正・実践ができる <input type="checkbox"/> 発達段階や疾患・病態に応じて長期的な視点をもって個別的なデベロップメンタルケアが実践できる <input type="checkbox"/> ファミリーセンタードケアの理念及び基本的概念（尊厳と尊重 情報共有 参加 協働）に基づき、長期的な視点をもって看護計画を立案・実施できる <input type="checkbox"/> 退院後の生活も視野に入れて個別的な指導ができる <input type="checkbox"/> 急変時のリーダー役割を果たすことができる	<input type="checkbox"/> 新生児や家族の複雑なニーズに対応するためあらゆる知見（看護および看護以外の分野）を動員し、ケアを実践・評価・追求できる <input type="checkbox"/> 複雑な状況にある新生児と家族にとり、最適な看護が実践できる <input type="checkbox"/> 急変の兆候を事前にとらえ、防ぐことが可能な急変は起こさない
協働する力	【レベル毎の目標】	助言を受けながら、必要な情報を関係者と共有することができる	必要な情報を関係者と共有することができる	多職種と連携ができる	関連する多職種の力を調整し連携できる	新生児や家族の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携を活かす（ペナールを参照）	
	【行動目標】	<input type="checkbox"/> 助言を受けながら新生児と家族のケアに必要な情報を、関係者に連絡・報告・相談できる <input type="checkbox"/> 助言をうけながら、チーム医療・看護におけるメンバーシップを理解し、レベルⅠスタッフとして求められている行動がとれる <input type="checkbox"/> 関係者の役割や様々な立場での考えに気づき理解できる。 <input type="checkbox"/> カンファレンスに参加する	<input type="checkbox"/> 得られた情報を適切な方法で共有することができる <input type="checkbox"/> 必要な関係者がわかり、自らコミュニケーションをとることができる <input type="checkbox"/> 新生児に関わる多職種の立場を理解し、必要な情報交換ができる <input type="checkbox"/> カンファレンスに参加し、必要な情報提供をすることができる	<input type="checkbox"/> チーム医療・看護におけるリーダーシップを理解している <input type="checkbox"/> （チーム医療・看護における）リーダーとして連絡・報告・相談に対し適切に対応できる <input type="checkbox"/> 新生児に関わる多職種と必要な情報交換を行い、看護方針を決定することができる <input type="checkbox"/> カンファレンスに参加し、必要な情報交換を行うことができる <input type="checkbox"/> 積極的に多職種に働きかけ、協力を求めることができる <input type="checkbox"/> 家族とケアについて意見交換ができる	<input type="checkbox"/> 看護職間で連携して個別的な看護を実践するための調整を行っている <input type="checkbox"/> 新生児と家族および周囲の人々がおかれている状況を広くとらえ、結果を予測しながら主体的に多職種と協力し合うことができる <input type="checkbox"/> 必要時支援をうけながら、多職種がその専門性をそれぞれ発揮できるように調整できる	<input type="checkbox"/> 新生児と家族および周囲の人々がおかれている状況を広くとらえ、結果を予測しながら多職種との連携において中心的な役割を担うことができる。 <input type="checkbox"/> 多職種がその専門性をそれぞれ発揮できるように調整できる	
意思決定を支える力	【レベル毎の目標】	家族の意向を知る 新生児の立場にたって考えることができる	家族の意向を知り、チームメンバーと情報共有する 新生児の示すサインを看護に活かすことができる		・新生児の示すサインをふまえ家族や周囲の人々の意思決定の過程を尊重する	新生児の示すサインをふまえ複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる	
	【行動目標】	<input type="checkbox"/> 家族の思いや希望を聴くことができる <input type="checkbox"/> 助言を受けながら新生児の示すサイン（Cue）に気づくことができる <input type="checkbox"/> 新生児は自ら意思決定できない存在であることを理解する <input type="checkbox"/> その特性から代弁者としての役割の重要性を理解する <input type="checkbox"/> 新生児を尊重した行動がとれる	<input type="checkbox"/> 家族の思いや考え、希望を意図的に確認することができる <input type="checkbox"/> 家族の思いや考え、希望をチームメンバーに伝える <input type="checkbox"/> 家族の思いや考え、希望を踏まえて看護を実践できる <input type="checkbox"/> 新生児の示すサイン（Cue）に気づくことができる <input type="checkbox"/> 新生児の示すサインを踏まえて看護を実践できる	<input type="checkbox"/> 家族や周囲の人々の意思決定に必要な情報を提供できる <input type="checkbox"/> 家族や周囲の人々の意向を多職種に伝えることができる <input type="checkbox"/> 家族や周囲の人々が発言できる場を設定することができる <input type="checkbox"/> 必要時支援を受けながら新生児の代弁者としての意見を述べるることができる	<input type="checkbox"/> 家族や周囲の人々の意思決定プロセスに看護職の立場で参加し、適切な看護ケアを実践できる <input type="checkbox"/> 新生児の代弁者としての意見を述べるることができる	<input type="checkbox"/> 法的 文化的 様々な視点も踏まえ、患者 家族の尊厳を尊重した意思決定が行えるよう、院内 院外の資源を適切に活用することができる <input type="checkbox"/> 意思決定後のフォローの重要性を理解し、継続的に支援していくことができる <input type="checkbox"/> 看護職 家族、他職種間の調整を行い、意思決定プロセスにおける中核的な役割をとることができる	